



# 木曾川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2022年12月11日(日) 9:30~12:00(曇り)

参加者 一般:4名

指導員:3名

## テーマ 冬鳥は来たかな？

この日のテーマは鳥でしたが、その前に外見がよく似たイヌホオズキの仲間の見分け方を紹介しました。イヌホオズキ、オオイヌホオズキ、最近増えているカンザシイヌホオズキを持ち込み(アメリカイヌホオズキは近所になくてあきらめ)、ついでに、そのつき方、光沢、熟した時の落ち方の違いを確認しました。

今シーズン、ジョウビタキなどは例年どおりに来ていますが、ツグミなど一部の冬鳥の渡来が遅れているようです。11/27に犬山から扶桑にかけての木曾川沿いで開いた「あいちの自然観察会」でも、ツグミは見られず、川面に浮かぶカモ類も少なめでした。

この日は朝少し早く着いて園内を歩いた時にツグミの鳴き声を聞いたので、いつもとは少しコースを変えてその方面から回りました。大きなエノキなどの枝にツグミとシメの群がいて、枝とその下の水場や草地の間を動き回っていました。木曾川(南派川)の上空をダイサギの数十羽の群が優雅に飛びました。冬鳥として渡来しているオオダイサギ(ダイサギの亜種)かと思われます。また、この時期に見られる小鳥の混群も現れました。群にはシジュウカラ、エナガ、コゲラが入っていました。やっと冬らしい光景が見られるようになったようですが、草原で冬によく見るアオシヤベニマシコは姿も鳴き声も確認できませんでした。

歩いている時、所々で雪のような小さな白い物体がふわふわと飛んでいました。初冬に見られるアブラムシの仲間、雪虫と呼ばれるものです。

大野極楽寺公園でウスギモクセイの樹の横を通りかかった時、シキザキモクセイとも呼ばれるようで岩倉で花が咲いていたことを思い出し、花がついていないかと確認してみました。6本植えられているこの樹に花はありませんでしたが、そのうちの4本に小さな実がついていました。ウスギモクセイ自体、キンモクセイほどにはお目にかかることがなく、小さく色も緑色で目立たないので、参加者みんな初めて見る実だったようでした。

(報告: 齋竹)

### <その他観察できたもの>

鳥: アオサギ、オオタカ、トビ、ヒヨドリ、モズ、キジバト、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、メジロ、スズメ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ウグイス(地鳴き)、シロハラ(声)

昆虫: イセリヤカイガラムシ

花: セイタカアワダチソウ、ブタナ、セイヨウタンポポ、ヒメジョオン、オオイヌノフグリ、ホトケノザ

実: シロダモ



(ツグミやシメを観察)



カンザシイヌホオズキの実



やっと姿を見せたツグミ



シメも来た



初めて見たウスギモクセイの実